

さいたまシルバー



迎春

Contents

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 上半期事業実績
- 5 各種講習・研修
- 8 会員紹介
- 9 お客様の声
- 11 地域班
- 12 親睦互助会
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

見沼氷川公園

唱歌・案山子発祥の地

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

〒330-0801

埼玉県さいたま市大宮区土手町 1 丁目 213 番地 1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel : 048-669-0303

Fax : 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索





新年のご挨拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター

理事長 佐伯 鋼兵

新年、明けましておめでとうございます。
会員の皆様ならびに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当センター事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症は感染法上の5類と位置付けられ、種々の制限が緩和、日常の風景が戻ってきています。一方で、インフルエンザが流行している状況であることから、引き続き基本的な感染症対策を実施することが大切です。

さて、令和5年度は「さいたま市シルバー人材センター第3次中期計画（令和5年度～令和9年度）」初年度であります。令和5年度上半期の当センターの事業実績は、会員数前年比 98.6%、契約金額前年比 98.7%と、前年度に比べほぼ横ばいながら減少してしまいました。

今後も一人でも多くの会員皆様の“生きがい”や“健康維持”につながるよう「はたらく場」「まなびの場」「つどいの場」を充実し、地域に信頼される魅力あるセンターとなるよう、また、会員数や契約金額等をコロナ感染拡大前の令和元年度の水準に回復

させることを目標として、事業を展開してまいります。

また、本年秋には、「フリーランス法」（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）の施行により、請負業務に係る契約方法の見直しなど、センター事業に大きな影響が予測されております。

このようなことから、円滑に業務を遂行できるよう体制を整備するほか、新たな契約に不可欠なシステムの導入やデジタルを活用した情報提供を行うための検討が優先課題となってまいります。

会員の皆様、関係各位におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、会員の皆様ならびにご家族の皆様の皆様のご健勝とご活躍を願い、また新しい年が皆様にとって幸多き素晴らしい一年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃からシルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別の御協力と御支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年6月、認知症の方と認知症でない方が相互に支え合いながら暮らせる社会の実現を目的とした、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立しました。

国の予測では、令和7（2025）年には高齢者の約5人に1人となる約700万人が認知症になると見込まれており、本市の認知症高齢者も3.6万人を超える見通しです。

そこで、本市では厚生労働省が進める認知症施策「チームオレンジ」の取組を今年度より導入し、登録チーム・企業等の活動支援を開始いたしました。皆様がいつまでも元気に暮らすことができるよう、社会参加の場を創出していくとともに、引き続き多様な主体との連携に努めてまいります。

認知症は誰もがなりうる身近な病気ですが、フレイル（※）を予防することで、発症や進行を緩やかにすることができる場合があります。

体力低下などの身体的な問題のほか、気

持ちの落ち込みや意欲の低下といった心理的な問題、閉じこもりなどの社会的な問題もフレイルの要因となります。これらの問題は、積極的に人とコミュニケーションをとることや、家庭や地域で役割を持つことが予防策の1つであると考えられています。

そのため、就労、ボランティア等により社会参加を行うことができるシルバー人材センターでの活動は、フレイル予防の面からも有効であり、高齢者がより一層いきいきと御活躍いただくための重要な役割を担っていると考えます。

シルバー人材センターにおかれましては、今後も高齢者が生きがいを持って活躍することができる場の提供、創出に注力していただくとともに、会員の皆様には、これからも、長年培ってこられた技術や経験を多方面で活かしていただくことを期待しております。

最後になりますが、新しい年が会員の皆様方にとって健康で幸多き素晴らしい1年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターの益々の発展を御祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

※フレイル…加齢に伴って筋力や心身の機能が低下した状態

令和5年度上半期事業実績

令和5年度上半期事業実績は次のグラフのとおりです。青が前年度、オレンジ色が当年度のグラフです。

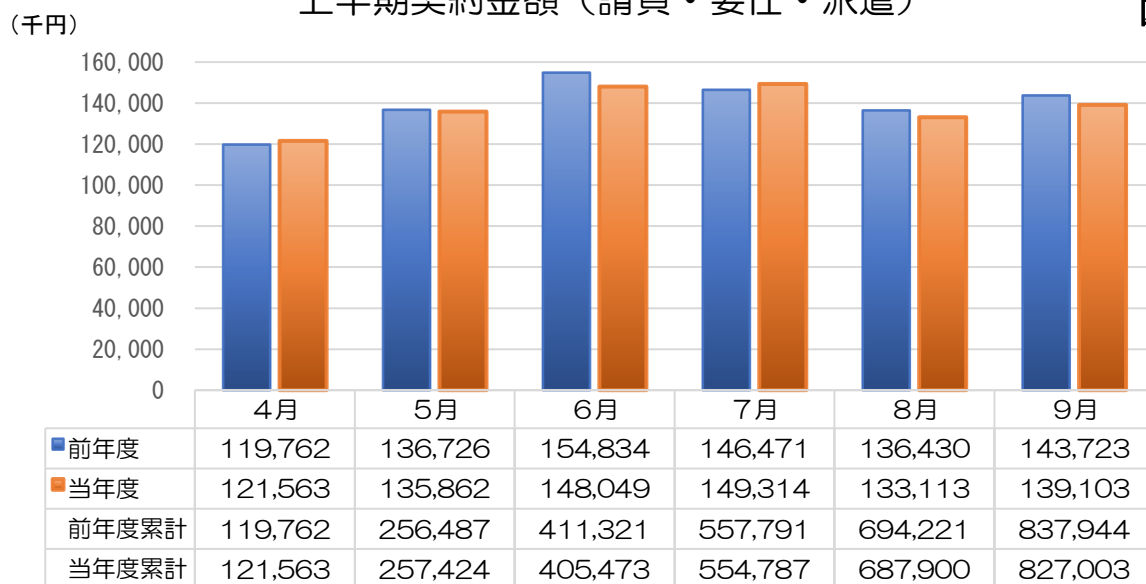
契約金額は9月までの累計が8億2,700万2,776円で前年比98.7%、金額にして約1,094万円の減となっています。(図①) 月別に見ますと6月に約680万円、9月には約460万円減となっており、植木剪

定作業や除草作業の減額が目立っています。

会員数は前年比ですと減となっていますが(図②)、入会者数は60人増加しており(図③)、退会者数は44人減少しています(図④)。これは令和4年度末が前年比176人減少しており、これを72人減まで挽回したということになります。

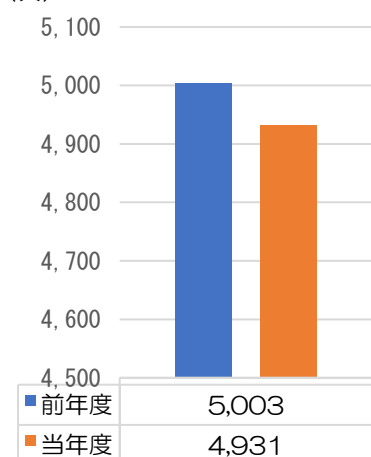
上半期契約金額（請負・委任・派遣）

図①

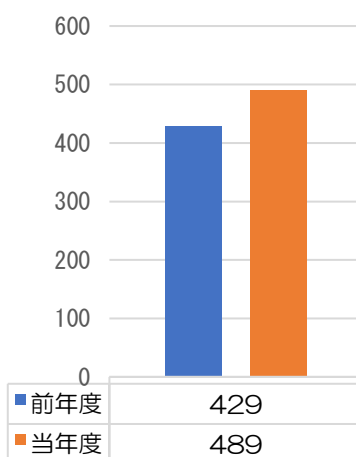


図② 上半期会員数

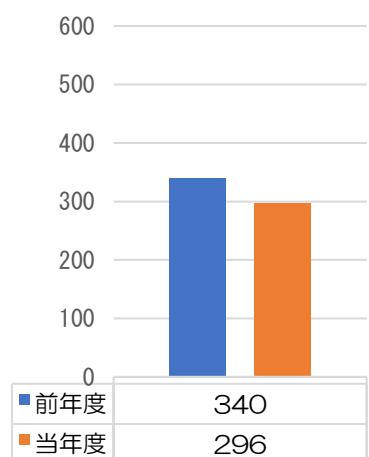
(人)



図③ 上半期入会者数



図④ 上半期退会者数



各種講習・研修

次のような講習や研修を、令和5年に実施しました。

会員講習・研修

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。

① 高齢者自転車交通安全講習

1月24日 35人参加

10月27日 21人参加

会場・大宮事務所



② コンプライアンス研修

1月27日 22人参加

会場・浦和ふれあい館



③ 除草安全講習会

3月6日 27人参加

会場・大宮事務所、浦和事務所

④ 植木（松）剪定講習

3月7日 22人参加

会場・市内小学校



⑤ 植木安全就業研修

3月28日 14人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター

⑥ 安全刈払機取扱研修

7月26日 29人参加

会場・にぎわい交流館いわつき
七里総合公園



⑦ 接遇研修

9月25日 35人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター



⑧ アンガーマネジメント研修

10月18日 午前 22人参加

午後 19人参加

会場・浦和ふれあい館

アンガーマネジメント研修とは、怒りの感情をコントロールし、より良い関係性に繋げる研修です。



⑨ パソコン講習

エクセル入門

2月6～8日 9人参加

会場・大宮事務所

ワード入門

6月5～7日 9人参加

会場・大宮事務所

初めてのパソコン

8月14～16日 5人参加

会場・与野事務所

エクセル入門

10月4～6日 7人参加

会場・与野事務所

ワード入門

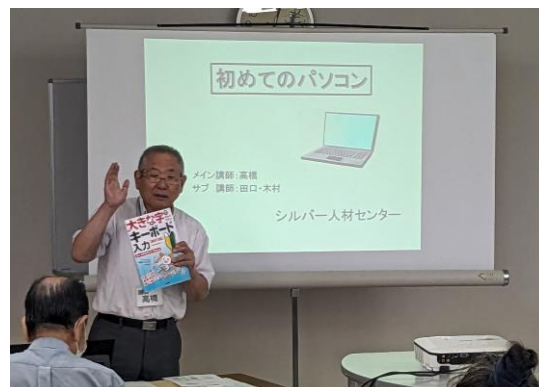
12月5～7日 4人参加

会場・与野事務所

初めてのパソコン

12月18～20日 4人参加予定

会場・大宮事務所



市民向け研修

当センター主催の一般市民向けの研修です。受講者の一部はシルバー人材センターに入会して、植木班として活躍しています。

植木職人養成研修 39人参加

座学 7月14日

会場・浦和ふれあい館

実技 7月18日、19日

会場・障害者交流センター



高齢者生きがい活動 センターの研修・講習

さいたま市シルバー人材センターが指定管理者として管理している高齢者生きがい活動センターの事業です。

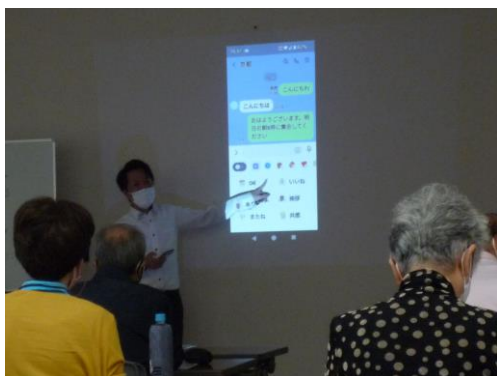
さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより、就労の支援や地域活動を援助します。

会場は全て高齢者生きがい活動センターです。

① 初めてのスマホ体験

2月3日 20人参加

3月10日 20人参加



② 障子張り講習

2月24日 9人参加



③ 筆耕講習「写経書き」

3月13、14、16、20日 25人参加



④ 傾聴ボランティアスキルアップ講座

7月21、24日 35人参加

⑤ 傾聴ボランティア養成講座

9月15、21、22、25、29日

10月3、6、11日 24人参加



⑥ パソコン講習

パワーポイント入門

1月25～27日 7人参加

初めてのパソコン

3月28～30日 8人参加

初めてのパソコン

6月27～29日 5人参加

エクセル入門

7月4～7日 10人参加

ワード入門

8月22～24日 13人参加

パワーポイント入門

9月5～7日 15人参加

初めてのパソコン

11月6～8日 12人参加

エクセル入門

12月25～27日 12人参加予定

会 員 紹 介

夫唱婦随で会員登録

さいたま市桜区町谷にある第一プラザ西浦和店に就業されている加賀谷久美子さんにお話を伺いました。

加賀谷さんは「14年前、主人が定年を迎え、それがきっかけとなりシルバー人材センター浦和事務所を訪れた。その時は主人の付き添いのつもりでしたが、職員の方から熱心に誘われ会員となった」と言われました。

現在は、就業会員13名のグループ長として取りまとめられています。就業体制は年間シフトで「3日従事、2日休み」と「3日従事、1日休み」のローテーションとのことです。最近になり1名の欠員が生じたため8名が就業、4名が休みの変則シフトの体制だそうです。

就業内容は「パチンコ台、スロット台の拭き掃除、床をほうきで掃き、その次にモ

浦和会員 加賀谷 久美子さん

ップで磨く」。始業は「7時45分で10時までの2時間15分が就業時間」との事。その中でパチンコ玉が落ちていないか、ガム、飴などが床についていないか、



玉があれば拾い、床に異物がついていたら場合は、剥がしますが、ガムは大変だそうです。ただ、「灰皿の清掃（以前はメイン作業、今は指定の喫煙スペースのみ）の作業自体はかなり軽減された」と言われました。

その他、体調などの理由で欠員が増えるると一時的に負担が増え、作業時間が足りなくなってしまうそうです。

休日の楽しみは「趣味の園芸作業で庭いじりをして過ごすこと」と言われました。

（取材・吉川編集委員）

仕事も、趣味も、 元気はつらつ！

250台収容できる「北与野駅市営地下駐車場」に就業して7年半。仕事は管理室での受付や駐車に迷う車を案内する「さばき」など。受付時は立っているが、椅子もある快適な職場環境とのこと。就業は午後7時から11時まで。80歳近い人もいるシルバー会員5人でローテーションを組み、月に10～12日就業しています。

「慣れないと大変だが、慣れれば働きやすい。夜遅くまで働くのは嫌という人もいるが、働ける日数が確実で、入替制もないからいいですね。屋外仕事と違って雨露も防げます」。ただ、午後11時過ぎの帰路になるので「自転車をこいでいてお巡りさんに声をかけられたことも何回か」（笑い）。利用者は一般の方々と、企業人が多く、声を掛ければ「ありがとう」と言ってくれてうれしいそうです。

会 員 紹 介

与野会員 小林 治夫さん

現在74歳ですが「まだ若い」と自ら強調する小林さんは、駐車場業務以外にも多忙です。



親睦互助会のバス旅行で知り合った方に紹介されて「カラオケ同好会」と「グラウンドゴルフ同好会」に入り活動中。ちなみにグラウンドゴルフは初参加した「4支部交流大会」で優勝（シルバー会報No.41の14ページに掲載されました）。他にも「趣味としてハマっている」と言うのが「べに花健歩」。20年前から手伝っていて、役員としても活躍中。さらに親睦互助会の与野支部の理事でもあるなど、公私共に充実した日々です。

（取材・小野塚編集委員）

旦那様に続いて、

奥様もシルバーに入会！

笑顔が素敵な畑山さん。旦那様がシルバーで楽しそうに働く姿を見て、シルバー入会を決めたそうです。畑山さんは調理師の資格をお持ちで、前職は調理のお仕事をされていました。

シルバーでも、前職の経験を活かし「食」に関わるお仕事に従事。有限会社マルゲンで幼稚園のお弁当作りに携わり、野菜などの洗浄・カット、盛り付け、洗い物や清掃をされています。

気を付けていることは、お弁当を決められた時間内に盛り付け、衛生面にも留意すること。時間的にも無理のない範囲で働けるため、友人とのランチも楽しめています。

シルバーに入会して良かったことは、職員さんは頼りがいあり、相談もしやすく「安心感」があること。また働くことで人とコ

会 員 紹 介

岩槻会員 畑山 美佐江さん

コミュニケーションも取れ体を動かすことができ楽しいとおっしゃっていました。

健康管理士の資格をお持ちの畑山

さんの抱負は、「食」を通して人々やご自分の健康増進に役立つように、知識をさらに身につけること。

シルバーで就業しながら学びを忘れず、輝いている女性でした。ご夫婦でまだ入会されていない方、是非、シルバーに入会されてはいかがでしょうか。

(取材・徳永編集委員)



お客様に食を楽しんでもらいたい！

東京・埼玉・千葉で46店舗を展開する地域密着型のスーパー。「食を通じ、お客さまの暮らしを豊かにする」という企業理念を掲げ、2022年7月にリニューアルオープンし1年半経過したベルクス東大宮店店長の新田様と副店長の西野様にお話を伺いました。現在シルバー会員は5名が就業中。主な仕事の内容は、お客様用の買物カゴやカート of 整理、ペットボトルや牛乳パックなどのリサイクル回収になっています。

現在は火曜と日曜を除く週5日の10時から19時迄を、1日3名体制の交代制で業務をおこなっています。

駐車場（立体と平面）と店内（1階から3階）と作業距離がとても長く、かなりハードな作業のようですが、店舗従業員様のフォローもあり、会員同士の引継コミュニケーションもしっかり取れており、滞りなく作業を遂行しているようです。「私達が

お 客 様 の 声

株式会社サンベルクス

ベルクス東大宮店 様

見逃している設備面の不備やご来店されるお客様の混雑状況など、逐次報告していただきとても感謝しています。

また、ハードな業務ですが、しっかり会員同士の引継をしていますので安心して任せられています」と西野副店長は仰っておられました。

また、「現メンバーはしっかりと業務をしていただき、紹介していただいた大宮事務所の職員さんにも本当に感謝しています」と新田店長に仰っていただきました。

(取材・後藤編集委員)



写真右 新田店長

写真左 西野副店長

お客様の声

情熱と気配りのオーナー様！

さいたま市桜区西堀BCビル1階の美容室オーナーの久保光明様にお話を伺いました。

シルバー人材センターについては、事業経営に携わる知人のブログを見られて知ったそうです。当時、事業とお母様のご自宅及び部屋の清掃を兼ねていたため、少しでも負担が減り事業に専念できればとの思いがきっかけとなったそうです。

業務の依頼内容は「庭の雑草取り、美容室の清掃、業務用衣類の洗濯など」とのことです。又、お客様に使用する洗濯物衣類はオーナー様みずから「白いもの、黒いもの、においの強いもの等を仕分けして、それが他の衣類に移らないかどうか常に気を遣う」と言われました。

特に女性のお客様がメインのこともあり

たくま
卓久磨エボラボ中浦和

久保 光明 様

「清掃には気を遣っているので、時間内の作業が厳しければ時間の延長も検討したい」と言われました。



「お客様もシルバー会員も同じ気持ちで接することに心掛けている」といわれたおことはオーナーのお人柄が出ているなど感じました。

また、事業拡大の中で美容室の隣にコーヒーショップを春ごろにオープンさせる予定だそうです。その時は、新たにシルバー人材センターに依頼したい意向とのお話もいただきました。

(取材・吉川編集委員)

園児たちとの会話など、 交流も楽しめている会員

近隣に大型ショッピングセンターもある至便の地でありながら、緑あふれる神社の敷地内という、豊かな環境が魅力の保育園です。宮川友子園長は「スキップ本町保育園は子どもたちのやる気を育て、自然を生かした遊びを主体的に行えるよう、子どもの声を聴き保育を行っている」とのこと。取材時は外遊びタイムで、元気いっぱいの声が響いていました。

シルバー会員の業務は、園児たちの出入りの見守り。門前に立ち、園児が道路に飛び出さないようにしたり、送迎者にお声掛けしたりします。就業は8時～9時と17時～18時。「職員では目が届かないところもあるから、シルバーさんなら安心。特に夕方暗くなるこれからの季節、子供2～3人を自転車に乗せる方もいるので」。

見守りは1日1人で、5人でローテーション。「シルバーさん自身も楽しめていますね。園児とお話したりして。



宮川園長

敬老会や運動会にもお呼びしています」。

なおシルバーは昔から知っているそうで、人が集まりにくい草むしりを依頼したことも。「仕事内容に、より見合った方を紹介していただけたら助かる。また、近隣住人が多く、自治会等の交流も進み、子どもたちとの関係も深まっている」とお褒めの言葉をいただきました。会員へは「夏は暑く、冬は寒いので、休んで、無理しないで来て欲しい」そうです。(取材・小野塚編集委員)

お客様の声

スキップ本町保育園 様

地域会議報告

第一地域は毎年3月末に開催する班長会議において、当年度に実施した各種事業についての評価・反省するとともに、これをベースにして次年度の事業計画を策定しております。

第一地域では班長会議を年4回、地域会議、地域奉仕活動をそれぞれ年2回開催することにより、班長意識の高揚を図るとともに地域会議では会員の皆さんが興味と関心を持つようなテーマで開催し参加者の拡大を図っております。

今年の第1回目の地域会議は8月24日（木）に「高齢者に対する社会福祉の概要と高齢者の健康維持対策等」について、中央区役所高齢介護課長からご講演をいただきました。

第2回目の地域会議は、寒い時期になると火災事故による高齢者の死亡事故が多発

地 域 班

中央区第一地域 山内 忠義



していることから、11月22日（水）さいたま市中央消防署から3人の消防士が来所され、「高齢者が火災事故を発生させた際の通報体制及び初期消火対策等について」ご講演と消火作業の実技指導をいただきました。参加者全員が消火作業を実施し火災事故防止の意識高揚を図ることができ、大変有意義な機会となりました。

多くの仲間づくりを！

当地域は東浦和・中尾・大間木・大門・美園地区と広いエリアを10班で構成され会員数は209名です。ここ何年かコロナの影響もあり思うような活動ができませんでしたがここにきてようやく落ち着いてきました。今年の活動として4月に第1回の班長会議を10名、9月に第2回の班長会議を9名参加のもと行い、6月27日（土）第1回の地域会議を34名の参加にて開催しました。会議終了後、浦和東警察署交通課の方より交通安全全般と高齢者の方の自転車事故についての講演には大変好評をいただきました。8月には4年ぶりの暑気払い。10月8日から9日は、これも4年ぶりですが1泊の親睦旅行を千葉で行い、2日間のグラウンドゴルフを楽しんで来ました。

当地域はグラウンドゴルフ同好会があり、毎週月曜の午後にプレーしており、会

緑区第二地域 佐藤 正秀

員相互の触れ合いの場にもなっています。また10月29日には緑区区民まつりが開催され、第一から第三地域合同参加のもと総勢78名でさいたま市シルバー人材センター会員大募集のチラシ等を配りました。今後は班長会議・第2回地域会議・新年会を予定しています。これからも一人でも多くの仲間づくりをしたいと思います。



親睦互助会

浦和支部4年ぶりの一泊旅行

コロナの影響で実施できなかった一泊旅行を、令和5年11月9日(木)～10日(金)に箱根・西伊豆旅行を実施しました。

9日は晴天に恵まれ、会員57名が参加、大型バス2台で浦和を8時に出発、首都高・東名高速を走行、車中でビール・つまみが配られ、車窓より富士山を望み、最初の観光地・箱根に到着。箱根神社参拝、箱根湖畔荘で昼食、芦ノ湖は海賊船で遊覧を楽しんだ後、宿泊先・西伊豆に出発。車中でホテルの部屋割りが配られ、堂ヶ島ニュー銀水に16時に到着。部屋で寛ぎ大浴場・露天風呂に入りました。

18時に宴会場に集合、バス号車ごとに写真撮影後、宴会が始まり、余興は14名の方が歌・物真似等、多彩な芸を披露し、盛大な宴会になりました。

浦和支部 宮本 和勇

翌日はバイキングの朝食をして、8時半にホテルを出発。小雨が降ってきたが「めんたいパーク伊豆」「三嶋大社」を観光、最後の観光地「伊豆フルーツパーク」で昼食・買い物・農園ハウスでみかんの食べ放題(お土産つき)があり、楽しみました。

帰路、首都高が渋滞だったが、全員元気で浦和に帰ってきました。2日間楽しい旅でした。



4年ぶりの親睦旅行

ふれあい会で今秋日帰りバス旅行を4年ぶりに実施しました。行先は、秋なので山梨のブドウ狩りを計画しました。

4年ぶりということで参加者の人数予測が難しいので、今までの60名程と考え、60～70名が乗れるよう大型バス2台とし、申し込みをした人はできるだけ行くことが叶うように心掛けましたが、最終的に参加者は51名になりました。

行程は9月26日(火)大宮を7時に出発し、まず山梨県立美術館を訪ねました。ミレーの名画は一見の価値あります。昼食は里の駅いちのみやで、本場物のほうとう料理をいただきました。続いてシャトー勝沼ワイン工場、さらに紅玉園でブドウ狩りを楽しみました。甲州ブドウは食べ放題。今はシャインマスカットが主流で、甘く一房

大宮支部 奥田 善七

1,500円もする高級品です。

今回の旅行は天気良し、ほうとう昼食はおいしく、名画を見ることができ、楽しく過ごすことができました。

帰りのバスは、恒例のビンゴとカラオケで、にぎやかになりました。

4年ぶりの募集でしたが、参加者が想定より少なかったため、今後の旅行について検討を重ねたいと思いました。



久しぶりの親睦旅行

親睦互助会与野支部は、令和5年度のグラウンドゴルフ大会を10月13日（金）に15人が参加して開催し、また、研修バス旅行を11月5日（日）に33人が参加して実施しました。

研修バス旅行は、車内で適正就業説明動画「シルバー人材センターで働く就業形態について」のビデオ研修を実施し、シルバーでの働き方（請負・委任・派遣）について皆で再確認しました。

旅行は、令和2年に完成した群馬県の「ハッ場ダム」見学が目的でしたが、到着してみるとダム構造の規模の大きさとダム湖の広大さに驚きました。

またダム湖の周囲の赤、緑、黄の葉がそれぞれ色濃くなり、色とりどりの紅葉は見事で、参加の皆さん方が歓声を挙げていました。

与野支部 山内 忠義



与野支部は地域社会と連携してシルバー人材センターの知名度向上と会員拡大に関するPRを図る観点から11月11日（土）、12日（日）の両日に開催された中央区区民まつりでブースを借用し、ブース前ではシルバー人材センターののぼりを掲出するとともにチラシ等を配布したところです。

来年度の5月に開催される四支部交流グラウンドゴルフ大会は与野支部が担当することになりましたので、プロジェクトチームを組成し準備しているところです。

栃木ブドウ狩りの旅

親睦互助会岩槻支部「みどり会」では、9月15日（金）栃木・茨城方面の日帰り旅行を行いました。

参加者 32 名、バス一台で岩槻駅西口を7時45分、事務所職員の見送りを受け、栃木フルーツパークに向け出発。

朝方は曇りでしたが栃木に着くとすっかり晴れ、15分ほど歩き汗だくになりながらブドウ畑に。係の人から試食品、ハサミ、袋を受け取り、一人三房のブドウ狩り。ブドウの袋を外し、中身を確認して取るのですが、今年は酷暑のためか熟れすぎて粒がボロボロ落ちてしまいましたが、非常に甘くおいしかったです。次はお楽しみの昼食です。茨城ヤマサ水産おさかなセンターにておいしい海鮮料理を堪能し、皆さん大満足の様子でした。ヤマサ水産でお土産を買

岩槻支部 井村 詩



い、めんたいパーク大洗に向かい記念写真を撮り、明太子の製造工程を見学し帰路に。途中小雨が降りましたが岩槻に定刻通り無事到着することができました。4年ぶりの旅行でしたが有意義な時間を共有できたことに感謝しています。

女子会だより

女子会とは、さいたま市シルバー人材センターの女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくりなどにつなげるため実施しているものです。

開催案内は会員ニュースに合わせて配布いたします。多くのご参加をお待ちしております。



クリスマスリース作り
(2023.12.11 与野事務所)



～おいしいお菓子の秘密に迫る!!～
グリコ工場見学
(2023.7.10 (北本市 グリコピアイースト))

♡ 令和5年度の開催 ♡

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

<浦和事務所>

2月27日(火) 14時から予定

「布でつくるネックレス」

<大宮事務所>

7月10日(月) 8時30分から

「～おいしいお菓子の秘密に迫る!!～」

グリコ工場見学」

2月頃実施予定

「苔玉づくり」

<与野事務所>

6月26日(月) 13時30分から

「～生花で癒しの香り～」

ラベンダーバンドルズ作り」

9月12日(木) 13時30分から

「女子トーク会&ティータイム」

12月11日(月) 13時から

「布製クリスマスリース作り」

<岩槻事務所>

6月8日(木) 13時30分から

「水彩色鉛筆画と三線演奏」

2月頃実施予定 内容未定

安全だより

令和5年度上半期事故状況は右のとおりです。前年度と比較して、傷害事故・車両事故は減少しましたが、賠償事故は増加し、合計は20件で7件減少しました。

傷害事故に関しては、転倒の事故が多くなっています。加齢による体力の衰えや、認知能力の低下を意識し、作業や就業途上には十分注意しましょう。

賠償事故に関しては、刈払機による事故は2件発生してしまいました。除草作業は令和4年度から新たな就業のルールを追加し刈払機の事故は大幅に減少していますが、事故0を目指して安全対策を継続してまいります。

車両事故に関しては、3件発生しました。傷害事故でも交通事故が1件発生しており、高齢者の交通事故には注意しなければなりません。センターでは10月に日本交通安全教育普及協会の協力により「高齢者自転車交通安全講習」を実施しました。自転車のルールの再確認、自転車シミュレーター体験、簡易体力診断などを行いました。

1月には「高齢運転者交通安全講習」を予定しています。会員の皆様には奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

令和5年度上半期事故状況

	傷害	賠償	車両	合計
当年度	9	8	3	20
前年度	16	6	5	27
増減	-7	+2	-2	-7

高齢者自転車交通安全講習



簡易体力診断（開眼片足立ち）



自転車シミュレータ（危険予測）

令和5年度・令和6年度

さいたま市シルバー人材センター安全スローガン

- ・再確認 だろう・つもりが 事故を呼ぶ
- ・慣れ仕事 緩む気持ちが 事故のもと

事務局より

本部事務所一時移転について

さいたま市シルバー人材センター本部事務所は、入居している大宮ふれあい福祉センターの中規模修繕に伴い、一時移転しています。

ご理解・御協力をお願いします。

移転先住所

〒336-0932

さいたま市緑区中尾 1440-8

プラザイースト内

電話・FAX 番号 変更なし

【アクセス】

JR 京浜東北線ほか、浦和駅東口バスターミナル 1 番乗り場から約 20 分「緑区役所入口」下車

【プラザイースト休館日】

第 2・4 月曜日（祝日の場合は開館）

年末年始（12/29～1/3）

プラザイースト休館日もシルバー人材センター本部事務所は営業いたします。

（土日祝日・年末年始は除く）

新規採用職員について

令和 5 年 10 月 1 日付、職員 1 名を採用し、本部事務所に配属されました。

今後ともよろしくお願いいたします。



藤野 耕平 主事

【プラザイースト周辺案内図】



編 集 後 記

「山路を登りながら、こう考えた。

～とにかくに人の世は住みにくい。」

夏目漱石の「草枕」の冒頭の一節です。現代の多様化傾向に反し、一般的に高齢者は思考が固定化されやすいと言われますが歳をとっても柔軟な頭でありたいものです。本県の令和 7 年の高齢者人口は、約 203 万人、高齢化率は 28.2%となる見込みだそうです。今年も一病息災!?で元気に過ごしましょう。

（編集委員会）

表 紙

山田の中の一本足の案山子

公園の入り口真ん前に「案山子発祥の地」と書かれた大きな案山子のモニュメント。通称、案山子公園と親しまれている。女体神社の神官の長男で教師をしていた武笠^{むかき}三^{さん}が明治時代に見沼田んぼに実る稲穂と案山子を歌ったものだそうです。